

陳情第 7 号



霧島市議会議長
下深迫 孝二 殿

2019年11月20日

陳情団体 霧島市社会保障推進協議会
霧島市国分中央3丁目38-14
会長 原口 兼明

霧島市の国保税引き下げを求める陳情書

陳情の趣旨

2017年度の国民生活基礎調査では、55.8%が「生活が苦しい」と答え、2018年度には、57.7%に増えています。

このような中で霧島市では、2019年度の国民健康保険税の引き上げが2年連続で行われました。

本年10月には消費税が10%に引き上げられ、市民の生活は益々苦しくなっています。

国民健康保険は、国民皆保険制度を支える最後の医療保険ですが、その負担は重く、保険税を滞納すれば期間を限って発行する短期保険証や、受診の時に治療費全額を窓口で支払う資格証明書が発行されています。その結果、全国だけでなく霧島市でも受診控えによる死亡事例が発生しています。

昨年続く、今回の国保税の引き上げは、市民生活を直撃し、必要な医療が受けられない市民を新たに生み出すこととなります。

このような状況を回避するために、国保税の負担軽減を求めます。

陳情事項

1. 2020年度の霧島市の国民健康保険税引き下げを実施すること。